



国会閉幕、参院選へ

アベノミクスの破たんは明らか

格差なくす経済の転換を

日本共産党が全国いっせい宣伝 池内さおり衆院議員も赤羽で訴え

1日、通常国会が閉会し、いよいよ参院選は本番に突入しました。この日、日本共産党は全国でいっせい街頭宣伝にとりくみ、志位和夫委員長は新宿駅東口で訴えました。

池内さおり衆院議員は夕方、赤羽駅の西口と東口に立ち、国会情勢と参院選の政策を語りました。

安倍首相みずから礼賛してきた「アベノミクス」は、大企業と大富豪を大もうけさせる一方で、長引く景気悪化、5年連続の実質賃金マイナスなどで破たんが明らかに。ついに消費税10%も延期に追い込まれました。

日本共産党は、税金の集め方、税金の使い方、働き方を変え、3つの改革で「格差をなくし、経済に民主主義を」とよびかけています。



訴える池内衆院議員(左)と、のの山区議 = 1日、赤羽駅東口

同日に開会した東京都議会では、舛添都知事が所信表明に立ちましたが、これまで指摘されてきた高額海外出張、公用車の私的利用、政治資金の不正使用疑惑などについては、わずか3分程度の言及にとどまりました。

舛添知事の疑惑を徹底追及



平和記念公園で被爆者と握手し、言葉を交わすオバマ米大統領(左)

「核兵器のない世界」追求を

オバマ米大統領が広島訪問、被爆者と言葉交わす

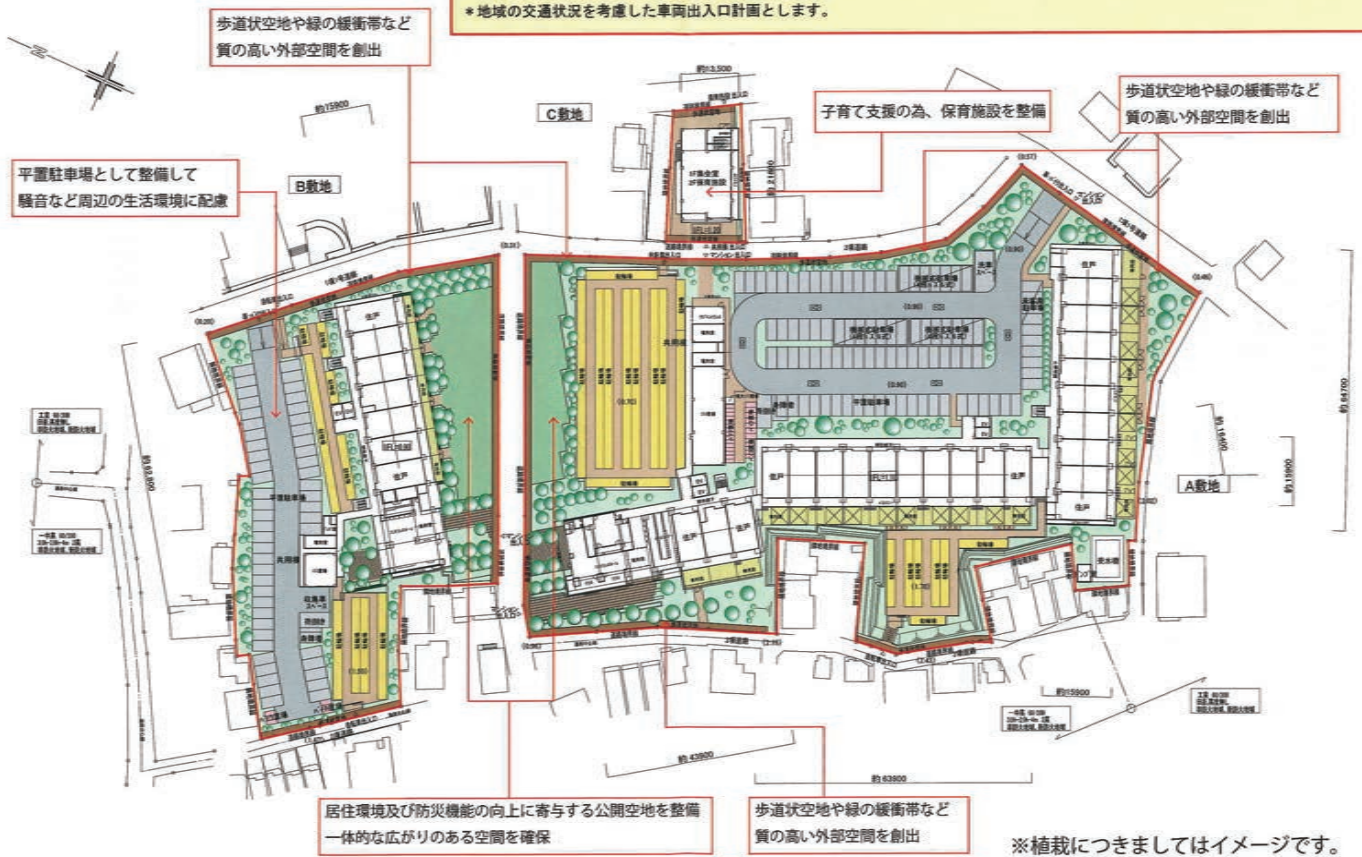
5月27日、アメリカのオバマ大統領は、原爆を投下した国の大統領として初めて被爆地の広島を訪れました。原爆資料館を見学した後、平和記念公園で「(核のない世界の)可能性を追求しなければならない」とスピーチ。直後に被爆者代表に歩み寄り、握手し言葉を交わしました。

マンション計画の内容明らかに

【本計画の土地利用計画の骨子】

■土地利用計画の方針

- *土地の高度利用を図り、A・B敷地間で幅員整備される地区防災道路の両側に公開空地を配置することにより、防災性と居住環境の向上を図り、安全ですみよいまちづくりに寄与する計画とします。
- *計画敷地の道路沿いに歩道状空地を整備して、安全・安心な歩行空間を創出するとともに、まちなみ全体が開放感・連続性を持つ計画とします。
- *地域の交通状況を考慮した車両出入口計画とします。



説明会で示された計画概要説明書より

5月28日、志茂東ふれあい館で、志茂3丁目の日本化薬跡地に建設される巨大マンション計画の説明会が開かれ、多数の近隣住民らが参加しました。

建築主の株式会社長谷工コーポレーションからA、B両敷地に合わせて502戸の分譲マンションを建設し、敷地間の道路両側に公開空地を整備、C敷地に

は保育施設を整備することなどが示されました。

質疑では、参加者から「今でも騒音や振動がひどい。建設中はどうなるのか」、「風害を起こす恐れがあるのでは」、「隣に住んでいるが、冬にはほとんど日が当たらなくなってしまう」、「目の前に巨大な壁ができて圧迫感がある」などの意見が続出しました。(のの山けん)

北区議会第2回定例会 本会議質問のご案内

ぜひ傍聴にお越しください



代表
質問

6月10日(金)
午後2時頃

福島 宏紀 議員



個人
質問

6月10日(金)
午後4時頃

野口 まさと 議員